

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像 自ら学び成長し、気持ちの良いあいさつができ、思いやりがある子ども	堺市立大泉小学校 校長 米澤 昭子
--	-----------------------------

令和5年度 重点目標 SMILE, SMILE ～一人ひとりが心身ともに元気な学校～	
1. 「自ら学ぶ子」「つくりだす子」「なかよくする子」	・ICTを活用しての一斉指導、個別学習、協働学習 ・リーディングスキルテスト(RST)を活用した読解力の育成 ・グリーンスクールカワセミはがきの継続 ・レジリエンスを育む授業実践による自尊感情の向上 ・児童生徒の夢の実現に向けたキャリア教育の推進 ・児童生徒の夢の実現に向けたキャリア教育の推進 ・デジタル教材やNSを活用し、英語を話そうとする態度の育成
2. 「情熱」「指導力」「教育公務員としての自覚」	・大泉学園授業スタンダードの活用 ・児童生徒の話を聴き、一人ひとりを大切にする ・子どもたちの可能性を引き出す ・組織的、協働的に協力し合う ・自ら学び続ける ・教科の専門性を活かし、児童生徒の学力を伸ばす ・妥当性、信頼性の高い学習評価、正確な進路対応 ・コンプライアンスの遵守 ・勤務時間の自己管理による働き方の改革
3. 「安心・安全」「チーム力」「未来をつくる」	・人権尊重の精神に立った教育活動 ・個に応じた特別支援教育の充実 ・いじめの未然防止・早期発見・早期解決 ・危機管理体制の徹底 ・中学校給食モデル校としての実践 ・児童生徒の健康管理の推進 ・学校、家庭、地域、関係機関とよりよい関係づくり

「確かな学び」の現状 昨年度は、「思考力」に焦点を当て、対話的な学びを取り入れたり、RSTやICTを活用したりするとともに、「大泉授業スタンダード」を活かした授業研修に注力した。また、学校独自の大泉漢字・計算検定や自学ノートなど、家庭学習の継続的な取組により、基礎学力の定着もめざしてきた。今年度は、引き続き「思考力」の育成を軸に取り組んでいくが、特にどのような授業展開を経て、どのようにICTを活用させれば「思考力」が身につくのかについて、「大泉スタンダード」を十分に活かした授業研修に力を入れたい。	「豊かな心・健やかな体」の現状 昨年度は、3年ぶりに実施された学校水泳において、水泳能力の向上を図った。その他の体育の授業でも継続してかけ足・なわとびの時間を設けるなど、体力の向上に取り組んだ。今年度もかけ足・なわとび・大縄などを取り入れ、体力の向上をめざしたい。また昨年度、「カワセミはがき」による「いいところ見つけ」や、「レジリエンス」を育む授業を行い、子どもたちの自尊感情を高めていった。その結果、学校評価アンケートの「グリーンスクール」項目において、全学年80%以上の肯定的回答が得られた。今年度も継続して、「カワセミはがき」などの取り組みを行い、互いに認め合える集団づくりに取り組んでいきたい。
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認(◎、○、△) (11月)	達成状況(年度末)	
								自己評価(◎、○、△)	学校関係者評価
確かな学び	思考力の育成	社会で生きてはたらく「思考力」の育成を軸とした9年間を豊かにつなぐ教育活動の実践	●★「思考力」に焦点化して、本校独自の「大泉授業スタンダード」に基づき、授業展開など指導法のさらなる工夫により、考える力のいっそうの育成をめざす。	「思考力」項目で肯定的回答75%以上	学校評価アンケート(教員用)	1月	○	○	○
			★大泉漢字計算検定、朝の学習、家庭での自学ノートの取組を通して、漢字力や計算力など、基礎学力の定着を図る。	大泉漢字計算検定で平均点90点以上	大泉漢字計算検定	5・10・2月	○	○	○
	自主性・創造性の育成	「夢に向かって自分らしく輝く子」の育成	★ICTを活用した「思考力」の育成に取り組むとともに、「個別最適な学び」や「協働的な学び」が実現する授業を行う。	「ICT活用」項目で肯定的回答80%以上	学校評価アンケート(教員用)	1月	○	◎	○
			★異学年交流や社前授業など、他者との関わりの中から夢や目標を持ち、ドリームファイルを活用することにより、「自ら学ぶ子」「つくりだす子」「なかよくする子」の育成をめざす。	大泉ドリームファイル(キャリアパスポート)の作成	学校評価アンケート(児童用)	7・1月	○	○	◎
豊かな心・健やかな体	豊かな心	互いに認め合える集団づくり	●★「カワセミはがき」を年間通して活用し、「いいところ見つけ」に取り組んだり、「レジリエンス」の授業を行ったことで、子どもたちの自尊感情を高めていく。	「グリーンスクール」項目で肯定的回答75%以上	学校評価アンケート(児童用)	1月	○	◎	◎
			★同一時間に道徳の時間を設定し、様々な教員が授業をし、授業を参観できるようにする。また、道徳の授業を保護者へ公開したりしながら、児童の豊かな人権感覚の向上をめざす。	「豊かな心」項目で肯定的回答85%以上。		11・1月	○	○	◎
	健やかな体	体力向上と健全な生活習慣の定着	★体育の授業でかけ足やなわとびなど、持久力を高める運動を取り入れ、体力向上を図る。	「体育」項目で肯定的回答75%以上。		1月	○	○	○
			★はつらつカードや3ピカチェックの活用で、家庭との連携を深め、基本的な生活習慣の定着を図る。また、食育を通じて健全な食生活に関する知識や技能を身に付け、食事のマナーや食事を通じた人間関係形成能力を養う。	はつらつ・3ピカチェックカード 「生活習慣・健康」項目で肯定的回答75%以上。 「食育」項目で肯定的回答75%以上。	学校評価アンケート(児童用)	7・1月	○	○	○
小中一貫教育		小中一貫校として、学びと育ちの連続性あるカリキュラムを編成することで、9年間の系統的な指導体制を確立する。	●★学園の合同研修・研究を推進して、小中の教員が互いの専門性を学び合うことで授業力を高め、中学校卒業時を見据えた教育活動に取り組む。	学校評価アンケートの小中一貫の学校運営に関する項目で肯定的回答75%以上。	学校評価アンケート(教員用)(保護者用)	1月	○	◎	◎

校長より(年度末) 今年度は、ICTをいかに児童に活用させるかを研修のサブテーマにおき、指導実践を行ってきた。その成果として、1年生からICTを活用して、課題に向き合うようになってきた。次年度は、これまで、実践してきた取組みの中で、改善するべきものも継続していくものを吟味して、「具体的な取組」について検討し、児童が自らの学びを説明できる子どもを育てていきたい。	学校関係者評価者から(年度末) 学校での教育のことは、教職員のみなさんに安心して任せている。
---	--